

目 次

はじめに	1
第1章 景気の現状と課題	2
第1節 原油価格上昇の影響と物価・賃金の動向	3
1 原油価格の上昇と物価動向	3
2 賃金の動向	17
第2節 我が国の実体経済の動向	26
1 マクロ経済の動向	26
2 GDPの需要項目等の動向	29
3 供給面の動き	68
第2章 経済の構造変化と家計への影響	72
第1節 賃金・物価・金利が変動する経済が家計に与える影響	73
1 家計資産・債務の動向と物価・金利の上昇	73
2 家計属性ごとにみた物価・資産価格の変動による影響	82
第2節 労働需要の変化と求職・求人市場	101
1 新技術を踏まえた労働需要の動向	102
2 労働市場のマッチングにおける課題	117
第3節 時間と労働供給	135
1 労働時間の推移と働き方改革	135
2 通勤時間の存在が労働市場に与える影響	151
第3章 物価環境の変化と成長資本の蓄積	168
第1節 現れ始めた企業行動の変化	169
1 これまでの製造業の生産・輸出の停滞	169
2 我が国における企業行動の変化	185
第2節 我が国企業のバランスシート ―資本ストックの更なる蓄積に向けて―	192
1 金融面からみた我が国企業のバランスシート	192
2 実物面からみた我が国企業のバランスシート	217
3 資本ストックの蓄積を進めていくために	221
第3節 賃金と物価の緩やかな上昇と設備投資の拡大	228
1 企業の経済認識と設備投資意欲	228
2 企業の前向きな行動と生産性の向上	247

おわりに	258
付図	262
付注	276
参考文献	310
図表索引	316
コラム	
1-1 各原油市場の特徴と原油価格の動きについて	14
1-2 外国人労働者の就労動向について	44
1-3 中東向け輸出について	54
1-4 公共工事の価格転嫁について	60
2-1 小分類の職種でみた賃金上昇	115
2-2 福利厚生と求人	132
2-3 労働時間の統計間の差は副業の存在で説明できるか	144
2-4 通勤の手段と省エネへの寄与	156
3-1 製造業の伸び悩みと非製造業への波及について	183
3-2 マネーに関する各種統計	199
3-3 貸出統計からみた企業の姿	211
3-4 キャッシュ・コンバージョン・サイクル（CCC）と企業の収益性	214
3-5 資本の質とビンテージ	220
3-6 コストの種類ごとの価格転嫁	244
3-7 経済成長につながる産学のイノベーションに向けて	253